

～18号～2014年7月1日発行～

*10代、20代、30代以上の不登校・ひきこもりの方の社会参加を考えるNPO法人です。

ポラリス通信

～不登校・ひきこもりの対応ニュース～

◆大学生の不登校・中退・卒業後の生き方を探している若者とその家族のためのブログ

<http://ameblo.jp/wakamono-ikikata-kurabu>

◆「若者生き方くらぶ」【交流掲示板】

<http://wakamono-ikikata.bbs.fc2.com/>

訪問サポート・トカネット代表藤原宏美

■トカネット無料相談日のお知らせ（前日までの予約制）4名様

◆7月12日(土)13時～

◆7月15日(火)13時～

◆7月20日(日)13時～

◆7月29日(火)13時～

(上記以外の日にちを希望されます場合は、予約制、通常ご相談料金3000円です。)

[E-mail/tokanet1998-lucky-chance@docomo.ne.jp](mailto:tokanet1998-lucky-chance@docomo.ne.jp) (藤原) / 090-4953-6033(藤原)

今年は豪雨が多いですね、だけどしっかり雨が降って梅雨らしい季節を感じます。

毎日のように、不登校やひきこもりの子どもを持つ親御様のご相談をお受けしています。お子様のご相談年齢は、小学生から40歳をこえています。

また「不登校ミニセミナー&質疑応答の会」を主宰して数名の専門家とともにお子様のことを考えていく場を毎月設けています。先月も親御様たちからたくさんの質問や、不安に思っている事が飛び交い、専門家を含めた参加者でひとつひとつ考えていく、とても有意義な場を持つことが出来ました。

最近では毎月継続して個別相談に来られる方が増えました。またセミナーも継続して参加される方が増えてきました。やはり、継続してご相談や、勉強会やセミナー、親会など参加されることで、親御様の気持ちの安定や、情報収集、子供への対応への確信などが得られて、親御様も子供本人も少しずつ確実に変わっていらっしゃいます。

そういう場で、求めておられる内容は大きく分けてふたつだと思います。一つ目は、親子関係。子供の状態をどう受け止めて、具体的にどう対応したらいいのかです。二つ目は、社会参加。どうやって他人とつなげていくかです。そして、それが居場所、学校、就労の仕方など次のテーマに進んでいきます。

継続的な会への参加が、漠然とした不安を整理して、親子関係や子供へのかかわり方、次に何をなすべきかが見えてくることにつながっていくように感じます。

向こう側の人を惑わせているのでしょうか

松田武己（不登校情報センター代表）

「表面的なことばの表現だけで、判断する人がいます。私は一つひとつのことばをよく考え、言った後もその言い方がよかったのどうかをふり返っています。

「元気ですか」ときかれ「元気なんですが…」と答えました。そうしたら「元気なんだ、よかったね」みたいなことで終わってしまいました。私のいう「元気なんですが…」とはこの受けとめ方とは少し違うんです。でもその人にはそれを求めても無理です。その人は「向こう側の人」なんです」。

これは不登校情報センターに来る人から聞いたことばを編集した『ひきこもり国語辞典』にある「向こう側の人」の説明です。反対語は「こちら側の人」になります。

化粧した自分は素顔の自分とは少し違います。背伸びをした状態は身の丈どおりの自分とは違います。自分の弱さやハンディキャップを補い・隠すために服装や行動やことばに細心の注意を払います。極端にいうと“偽装”するのです。外見をよく見せるためにだれでも普通に行っていることです。

ある人はこう言いました。「正常な感覚では人のなかに入ることができません。「今日は調子がいい」というように意識して特別視できたときにようやく人の前に出られます。私は正常なときではなく、何かを錯覚してときに生きているし、人のなかに入られます」。

これくらいになるといくぶんは病的な印象を持ちますが、状態像は連続しているのでどこからどこまでが正常でどこからが異常とは区別ができません。

化粧、背伸び、錯覚、偽装…はすべてそのままの自分とは違います。外見をよくするのは防衛のためです。その一方でそのままの自分を理解してほしいのです。しかし、そのままいることができません。なぜならそういう素の姿では周囲の人からおかしな人と排除される、受け入れてもらえないという不安がわいてくるからです。そのままの自分ではなく、偽装し背伸びしている自分を強いられ、その状態が肯定されてきた経験によるのでしょうか。

偽装していても「こちら側の人」は偽装の背後にいる素顔の自分を見てください。そしてそれを好意的に理解できる人を求めているのです。

運動会でいちばん早く走ったら「早く走れてえらいね」といわれませんでしたか。テストで100点取ったから、「えらいね」と言われますが、変だとは思いませんか？ 理解できる人には、そのことばの裏側にある気持ちを感じ取るのです。早く走れなければダメなのか、テストで100点取らなければダメなのか、そういう毒がこの誉めことばには入っています。「向こう側の人」のもつ偽善性を感じ取る能力、それを「こちら側の人」は持っているのです。

この力は優れているようですが、周囲の人から変えるように求められたことが多いでしょう。しかし変えることはできません。変えようとするれば、自分を壊すしかないので。周囲の環境とは独立に自分を変えることは至難の業です。それほどこの能力は身体・気質に密接につながりその一部になっています。しかし、変えようとして自分を壊した人もいます。要注意です。

よく考えると偽善性を感じ取る能力は悪いことではありません。むしろ優れた能力です。しかしそれを手放して優れた能力とおちついてながめていることができません。このタイプの多くは日常生活で生きづらさを経験するからです。この能力は悪くはないけれども不便な事態に遭遇しやすいのです。そういう面を無視して「よかったネ」とは簡単にいえません。

むしろそのよさをどう発揮するのか、その方法をどう獲得するのが課題になります。楽観主義の私はあえて言いますが、時代はこのような人が少しずつ住みやすくなる時代に近づいています。生きづらさをもつ人の問題をこれほど取り上げられた時代はこれまでないでしょう。しかし、その時代を開くときは同時にそれを妨げようとするカベも強まります。

この時代の「こちら側の人」はこの抵抗を強く受けざるをえません。先駆者の持つ受難といえます。私がひきこもりの人に強い関心を持つのは一人ひとりが、この受難をそれぞれの状態において独特の仕方を経験するからです。なかにはルールから外れる人もいます。それでも道は開けてきましたし、広がってきたのです。

楽観主義ではありますが私は一般論として「大丈夫！」とは言えません。関わっている人たちの状態が見ればそうは言えないです。一人ひとりに自分の及ぶ範囲で最善を尽くすのみです。

◆いくつかの取り込みのお知らせ

7月10日（木）13：00～、CSRを中心に在宅ワーク・居場所ワークの説明会。

7月10日（木）15：00～、ゲーム交流会。

7月17日（木）15：00～、セルフサービスカフェ。

*パステルアートの提案もきています。

◆「ポラリス通信」が定着し、配布先の人が増えてきました。

費用捻出のため今年に入ってから募金をお願いし、概算8名の方から5万3000円お送りいただきました。

引き続き募集をお願いいたします。

●郵便振替：（記号番号）00150-5-578534

●（口座名義）進路就職研究会

* 郵便局にいけば所定用紙がありますので、この番号で送金できます。

◆今後のお知らせ

(1) 「訪問サポート（メンタルフレンド）説明と質問会」

●うちの子は誰にも会わないと、あきらめないで下さい。

メンタルフレンドとかかわって、不登校やひきこもりの子供たちが、学校やバイトなどを含めた多様な形で社会と繋がっていきます。

*テーマ：どうやって他人につなげていったらいいの？

*日時：7月19日（土）、13時～15時30分。

*参加費：500円。 *対象：不登校・ひきこもりの子どもの親

(2) 第22回不登校・中退者の対応「ミニセミナー&質疑応答の会」

●何が子供におきているのか。●親が出来る事。●安心出来る人間関係を作っていくこと。●モチベーション・自己肯定感を上げていくこと。●学校復帰・バイト・友達づくりなどの社会参加につなげていくこと・・・など専門家と一緒に考えていきます。

*日時：7月27日（日）、13時～16時。

*参加費：500円

*対象：10代および20代前半の子供の親・体験者・学びたい人

(3) 「大人のひきこもりを考える教室」

*レクチャー：高齢しているひきこもりの社会参加の方法2

*日時：7月13日（日）、13時～15時。

*参加費：500円

*対象：親・体験者・学びたい人

◎上記は、全て予約制です（連絡先は下記まで）。

◎場所：NPO 法人不登校情報センター（JR総武線「平井」駅南口・徒歩5分）

◎地図はHPを参照ください。



●NPO 法人不登校情報センター

●訪問サポート・トカネット

【発行元】 ポラリス通信編集部

〒132-0035 東京都江戸川区平井 3-23-5-101

連絡先

TEL／03-5875-3730／090-4953-6033（藤原）

E-mail／tokanet1998-lucky-chance@docomo.ne.jp

URL／<http://www.futoko.info/tokanet/>